

研究課題名	高精度照射技術革新と治療予後改善に関する研究
研究の意義・目的	大阪公立大学医学部附属病院において実施された放射線治療データを用いて、革新的高精度照射技術による治療計画をコンピュータ上でシミュレーションし、従来法と比較をすることで改善点、問題点を検討し、部位ごとの最適な適応方法、治療予後との関連性を検討することを目的としています。これにより、高精度照射技術の適切な臨床応用の確立を導きます。
研究を行う期間	研究実施許可日～2027年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2011年1月1日～2026年3月31日に大阪公立大学医学部附属病院放射線治療科で、脳腫瘍、頭頸部癌、乳癌、肺癌、食道癌、膵癌、肝癌、胆管癌、子宮癌、前立腺癌、膀胱癌、直腸癌、少数個転移がんなどで放射線治療を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 治療計画装置を利用して取得するRT-Plan, RT-Dose, RT-Structure Set, DICOM Image series (位置照合に用いるCT、MRI画像を含む)、腫瘍、正常組織の線量体積ヒストグラム等の線量情報、有害事象情報、再発、生死などの予後情報。エコー、MRI、PET、CTなど診断に用いられた生体画像情報、腫瘍病理組織情報、診療経過中の採血データ、腫瘍マーカー、呼吸機能データ、認知、聴力、嚥下機能データ、排尿、排便、性機能に関するQOL調査データ。疼痛、健康、心理、社会面の主観的データ。
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院放射線治療科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院放射線治療科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学 研究責任者 澁谷景子
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学 (担当者氏名) 井口 治男 電話番号：06-6645-3834